

とやま

県広報とやま

2003

8
月号

No.401

富山県

特集 ボランティア・NPO活動を応援します

クローズアップ 覚えておこう! もしものときの応急手当



バイクのトライアル競技で、県内で唯一国際A級ライセンスを持つ門永哲也さん。自らのチーム「TEAM WISE」を立ち上げ、世界への挑戦を目指している。

福祉 NPO法人 このゆびと一まれ

子どももお年寄りも障害者も、誰でも必要なときに必要なだけ利用できるデイサービスを行っている。この取り組みは、富山方式と呼ばれ全国各地に広がっている。



民家を利用しているため、家庭的な雰囲気包まれている。

理事長 惣万佳代子さん 連絡先 ☎076(493)0765



世代間の交流が生まれるなど、たくさんの利点があります。良い活動をしていけば皆さんに理解してもらえますから、これからのNPOは活動内容を発信していく努力が必要だと思います。行政には、活動を円滑に行えるような部分での協力を期待しています。

国際交流 アジア子どもの夢

古着や雑貨を販売した収益でアジアの子どもたちを支援している。平成13年には、ベトナムに学校を建設した。また、年2回、子どもたちと一緒にベトナムに行き、現地の人々との交流を続けている。



のみの市(護国神社)で出店。購入する人もボランティア活動の立派な参加者だ。

代表者 川淵映子さん 連絡先 ☎076(438)5640



行政では補いきれない部分を援助したいと思っています。大切なのは自分のできる範囲でやっていくことです。今後は、ベトナムの障害を持った子どもたちの職業支援施設の設置やカンボジアへの支援を進めたいです。

問合せは「出前県庁」と談話「についての県庁広報課 ☎076(444)8909

特集についての問合せは「意見は県庁男女参画・ボランティア課 ☎076(444)9012

このため県では、平成十五年度において、ボランティア・NPOと行政との連携や協力に関する基本的な考え方や進め方などを示すガイドラインを策定することになっています。皆さんも、身近なところで社会のために自分に何かできることはないか考え、行動を起こしてみませんか。

県内では、いろいろな分野でNPO活動が活発に行われており、団体間のネットワークもできています。お互いの活動を知ること、自分たちの活動に生かしています。NPOの役割は、より良い社会を作るために世の中に働きかけることだと思います。そのためには、NPOが社会における役割をしっかりと認識し、いかに具体的な活動をしていけるかが今後の課題だと思います。



代表 室伏昌子さん 連絡先 PCTOOL内 ☎076(466)4165

県内で活躍するNPO

環境 環境教育ネットワークとやまエコひろば

地球規模での環境問題の解決を探る第一歩として、身近な自然への理解を深めることを目指している。自然体験などの参加型ワークショップや環境イベントの情報提供などを行う。



不要な木を伐採することで林床に光が届き、生態系が豊かになる。

代表者 本田恭子さん 連絡先 ☎0766(28)0070



環境問題を考えるきっかけを提供していきたいと考えています。これからの活動には、特に人材育成が大切だと思います。現状では行政などの財政的な支援も必要ですが、将来的にはこの分野の活動も自立できるようにしたいですね。

ボランティアとNPOの違いは？ 社会のための活動を行うという点ではボランティアとNPOは同じですが、ボランティアが各々の意志に基づいて活動を行う個人やグループであるのに対し、NPOは組織としての使命や目的に基づき継続的に活動を行う団体という違いがあります。

NPO等と行政の連携に向けて これまで公共的サービスは、主に行政が担ってきましたが、行政には画一的なサービスを広く提供できる一方、公平性や平等性が求められるなどの制約があります。これに対し、ボランティア・NPOの活動には自由な立場から、状況に応じた迅速で柔軟な取り組みや、今までになかった新たな試みを行えるところに大きな特長があります。行政とボランティア・NPOがお互いの利点を生かすことは、社会サービスの飛躍的な向上や、県民の皆さんの行政への自主的、主体的な参画の促進につながります。

ボランティア・NPO活動を応援します

近年、ボランティア・NPO(民間非営利組織)活動に対する関心が高まり、福祉をはじめ、自然環境、国際交流などあらゆる分野で大きな広がりを見せています。県では、これらボランティア・NPO活動が県内各地で活発に展開されるよう、各種施策を推進しています。



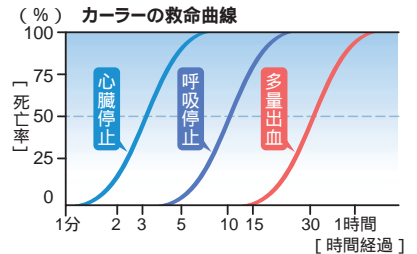
地域社会を支えるNPOとは？ 県内では、自発的な社会貢献活動であるボランティア・NPO活動への関心が高まっています。さらに、「特定非営利活動促進法」の施行後、法人格を取得するNPO(いわゆるNPO法人)も増えています。NPOは「民間非営利組織(Non-Profit Organization)」のことを指します。無償の奉仕活動をする団体ととらえがちですが、「非営利」とは利益が生じても団体の構成員に分配しないというだけで、必ずしも無償という意味ではありません。したがって、NPOは活動資金として会費などを集めるほか、活動に対する対価をもらうことができます。また、専属スタッフを雇用することも給料が常識的な範囲である限り可能です。

図2 NPO法人への県税の支援措置(太字は今年4月創設)
法人県民税(均等割) 全額減免
不動産取得税 全額減免
自動車取得税 全額減免
自動車税 課税免除
収益事業を行わないNPO法人
収益事業を行うNPO法人で設立後3年以内の赤字事業年度
設立後3年以内に不動産を無償取得した場合
設立後3年以内に自動車を無償取得した場合
福祉事業のために使用される一定の自動車
平成15年4月1日現在で設立済みのNPO法人は、同日から3年間適用されます。

図1 県民ボランティア総合支援センター 県社会福祉協議会ボランティアセンター
ボランティアの普及啓発イベントの実施
ボランティア・NPO関連の情報提供
ボランティア・NPO向け研修会の開催
ボランティアの交流活動に対する助成
ボランティア交流サロンの運営
住所:富山市安住町5-21 県総合福祉会館3階
利用時間:火~土 9:00~21:00 日・祝 9:00~17:00
☎076(432)2987(支援センター)
☎076(432)6123(ボランティアセンター)
ボランティア交流サロン

覚えておこう！ もしものときの応急手当

私たちは、いつでも突然のケガや病気に襲われるかわかりません。右のグラフは、心臓や呼吸が停止した場合の命が助かる可能性と経過時間を表したものです。救急車が到着するまでの時間は平均6分間で、それまでの対応が生死を分けることがわかります。皆さんもいざというときのための手当の方法を身に付けておきましょう。



こんな時どうする？ 応急手当ミニ講座

出血があったら！

きれいなガーゼやハンカチなどを傷口にあて、ゴム手袋やビニールの買い物袋などを利用し、手で圧迫する。

止血の手当てを行うときは、感染防止のため、血液に直接触れないように注意する。



手足の場合は心臓より高い位置に上げておく。

やけどをしたら！

最も大切なことは、やけどの部分を清潔に保ち、水で冷やすことです。

できるだけ早く水道水などで冷やす。

服は脱がず、衣服の上から流水で冷やす。

十分冷やしたら、清潔なガーゼなどで患部を保護する。

感染が起りやすく治りが遅くなるため、水ぶくれは破らない。



のどに物がつまったら！

意識がない場合

あごを突き出すようにし、平手で背中を4回くらい強く叩く。



意識がある場合

後ろから抱きかかえて片方の手を患者のみぞおちに当て、もう片方の手を重ねて胸部や上腹部を上に向かって締め上げます。なお、妊婦や乳児には絶対行ってはいけません。



問合せ 救急救命術普及事務所
076(431)9929

自分の家族に不測の事態が起こった場合、身近にいる人が適切な手当ができるかどうか家族を守る大きな決め手となります。県では、応急手当の知識を県民の皆さんに幅広く知っていただくため、今年四月に救急救命術普及事務所を開設しました。この事務所では、いざという時の救命術を学んでもらうために県内各地で応急手当講習会を開催しています。講習会の開催希望があれば、応急手当普及員を派遣いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

応急手当普及員を派遣します

応急手当講習会の様子



人工呼吸や心臓マッサージなどについて、普及員から指導を受け、人形を使い、実際に練習している。

参加者の声

いざというときのため、やっておいてよかったです。知識として持っておけば、今後、安心できます。

人工呼吸は意外に空気が抜けてなかなかうまくいきませんでした。

心臓マッサージの力の入れ具合などは、実際にやってみないとわからないので、勉強になりました。

救急車を呼ぶ場合は？

落ち着いて、次のように行いましょう。

- 1 119番につながったら、救急の旨を告げ、正確な場所を伝える。
例：「町丁目 番地の(名前)です」
「市町交差点です」
携帯電話の場合は、市町村名から伝える。
- 2 「だれが」「いつ」「どこで」「どんなふうにして」「どうなった」と手短かに話す。
- 3 傷病者の人数が多いときは、およその人数を告げる。
- 4 既に行った応急手当を話し、次に何をすべきかの注意事項を聞く。
- 5 民家の場合は近くの目標物を知らせる。救急車のサイレンが聞こえたらだれかが出迎えて合図する。



道なき道を乗り越え、世界のステージへ駆け上がる



トライアル競技国際A級ライダー

かどなが てつや
門永 哲也さん

1975年生まれ 福光町在住

トライアルとは、岩場や山の斜面といった険しい地形に設定されたコースを、バイクで走破するモータースポーツの競技。高度な技術が求められるトライアルで、門永さんは県内で唯一国際A級のライセンスを持つライダー。年間8戦行われる全日本選手権大会に出場し、国際A級スーパークラス入りを目標に上位ランキングを目指している。

”道”を走らない競技

「中学生の時、初めて自転車のトライアルを見て、『すごいな』とびっくりしました。自転車は平らな所を走るものだと思ってましたから(笑)」

門永さんとトライアルの出会い
は、知り合いの人に地方選手権大会に連れて行ってもらった時。その面白さに魅せられ、見よう見まねで練習するようになり、高校二年でオートバイ競技を始めた。

モータースポーツのほとんどがスピードで順位を競うのに対し、トライアルはセクションと呼ばれる採点区間を、いかに足つきなどの減点を少なく走り抜けるかを競う。そのため、二輪車に関するあらゆる技術を駆使しなくてはならないという。

「岩や坂の様子を見ながら、数ある技術の中で何を使い、どの角度から攻略するかなど、戦略性が問われるんです」

壁を超えて栄光の瞬間へ

国際B級までは次々と昇格した門永さんだったが、国際A級は難関だった。約八十人いる国際B級ラ

イダーの中で年間ランキング八位に入らないと上がれない。

「なかなか結果が出ず苦しみましたが、でも周りの人たちに後押しされて」

トライアルでは、サポートライダーという、競技者と一緒にコースを回ってセクションの攻略法を考えたリ、バイクの修理などを行うライダーがいる。門永さんはサポートライダーと大会出場を続け、挑戦から四年目の平成九年に見事昇格した。

さらに、平成十三年の全日本選手権九州大会では初優勝を遂げた。「その時はすぐに実感がわかなかつたんですが、サポートの人がすごく喜んでくれてとてもうれしかった」

人に恵まれたことを実感したと門永さんはいう。そして次の目標は世界選手権への出場資格が得られる国際A級スーパークラス入り。ランキング三位以内という全日本の最高峰に門永さんは挑んでいる。



休みの日だけでなく早く仕事が終わったときも練習に励む。試合同様にセクションを仮定して攻略していく。

多くの人に魅力を伝えたい

門永さんは今年、自分のチーム「TEAM WISE」を立ち上げた。しかし、まだトライアルへの認知が低く、各地への転戦など自費で行くことが多いという。

「もっと広く知ってほしいんです。トライアルは、モータースポーツの中では危険が少なく、中高年の人も楽しめるんです」

レベルに合わせて達成感を得られるのが、トライアルの魅力だと門永さんはいう。

「最初は平たい石を越えて、『やった』と思う。次はちょっと高い石、その次はもっと高い石。それがずっと続いて『ここまで来たんです(笑)』」

自分がかんばることで、多くの人に知ってもらいたい。門永さんは目の前の険しい地形を常に見据えている。それを乗り越え、いつか世界の舞台へ躍り出る日が来るだろう。



テープで決められた区間を足をつかずに走りきる。下見はできるが練習はできない。一つの大会で5時間以上競技が続く。

5月 21日 県イメージディレクター懇談会



県のイメージアップ戦略について、富山ゆかりの著名人から多くの提言がなされた。

27日 県雇用対策推進本部会議



平成17年度までの3年間で1万6,000人以上の雇用創出を目指す目標数値が設定された。

29日 とやま森の祭典

6月 3日 大学等合同就職面接会
6日 とやま医業バイオフォーラム
9日 県新世紀行政改革懇談会
14日 有峰森林文化村会議
16日 県議会(～27日)

7月 2日 環日本海政策会議
8日 電子自治体フォーラム
14日 ライフサイエンスに関する懇談会



ノーベル賞受賞者の田中耕一さんを交え、研究者間で活発な意見交換が行われた。

8月 1日 第7回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2003(～10月19日)

今後の予定

4日 利賀サマー・アーツ・プログラム2003(～30日)
8日 第1回富山県障害者技能競技大会
14日 Uターンフェア・イン・とやま
17日 いなみ国際木彫刻キャンプ2003(～30日)
21日 ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'03(～24日)

9月 19日 神通川馳越線工事100周年記念川と街づくり国際フォーラム

Q 県立大学に、学生と一緒に授業が受けられる制度があると聞きましたが、その詳しい内容を教えてください。

A 県立大学では、今年度から簡単な手続きで学生と一緒に授業を受講していただける「オープン・ユニバーシティ」を始めました。バイオテクノロジー関連の科目をはじめたくさんの授業がありますので、ご利用ください。

平成15年度後期「オープン・ユニバーシティ」のご案内

募集期間	9月8日(月)～30日(火)
授業期間	10月1日(水)～2月3日(火)
受講資格	高校卒業者およびこれと同等以上の学力があると認められる方
募集定員	各科目により2～10名(申込順)
公開科目	【一般教養】「人間論」、「経済学」、「芸術学」など34科目 【専門科目】「遺伝子工学」、「大気環境学」、「コンピュータ工学」など69科目
受講料	1科目につき5,000円(何科目でも申込可)
申込方法	募集要項の「受講希望調書」によりお申し込みください。 募集要項は県立大学事務局、県民会館、各市町村の図書館などで配布しているほか、ホームページからも入手できます。(http://www.pu-toyama.ac.jp/)

問合せ 県立大学事務局 教務課 ☎0766(56)7500 内線281

Q 交通事故を起こしてしまったのですが、損害賠償額の算定や示談の進め方などは、どうすればいいのでしょうか。

A 県では、無料で交通事故相談に応じています。秘密は固く守りますので、被害者の方も加害者の方もお気軽にご相談ください。

場 所	県交通事故相談所 富山市新桜町3-2 富山警察署分庁舎1階
相談時間	【月、水曜】午前8時30分～午後7時 【火、木、金、第2・4日曜】午前8時30分～午後5時 ☎076(444)4400、FAX 076(442)5025

弁護士による相談や魚津、高岡、砺波の各総合庁舎での巡回相談もあります。詳しくは、下記までお問い合わせください。

問合せ 県庁交通政策課 ☎076(444)3130



これからもいろいろな声をお寄せください。

はがき 〒930-8501 (住所記入不要) 「県民のひろば」係
県民相談電話・FAX・Eメール TEL.076(431)3131 FAX.076(444)3300 E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

INFORMATION • インフォメーション •

第6回世界自然・野生生物映像祭in富山
ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル 03
素晴らしい大自然のドラマや、ひたむきな生命の営みをぜひ体験してください。



開催期間：8月21日(木)～24日(日)
メイン会場：富山市民プラザ
サテライト会場：富山市科学文化センター、高岡市美術館、砺波市かいじょ苑、黒部市吉田科学館、黒部市コラーレ(21日のみ)、立山カルデラ砂防博物館(23、24日)、近代美術館(関連展示のみ)
上映作品：「カムチャッカのヒグマ」、「ジュラシック・シャーク」、「ハエ戦争」、「象の山 アナマライ」など約50本

問合せ 地球映像ネットワーク ☎076(495)7161

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山的话题を紹介します。今回は平成15年5月～6月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県庁広報課のホームページでご覧になれます。

富山のおいしい「水道水」

富山市がペットボトルに詰めた水道水の販売を始めたことを紹介。もともと水質がよく、消毒用塩素の使用も必要最低限で済んでいるため、ミネラルウォーターよりおいしいとの声さえあがっているとのこと。

◎日本経済新聞 5月20日 ◎週刊新潮 6月19日号



国内最大級の土偶を発見！

富山市の「長岡八町遺跡」から縦横9.5cmの土偶の頭部が発見されたことを紹介した。胴体は見つかっていないが、復元すると全長は38cmになるという。

◎日本経済新聞 5月24日



大好評！海洋深層水アワビ

海洋深層水を利用して養殖した入善のアワビに注文が相次いでいることを取り上げた。深層水には、表層水の約10倍の栄養源があるため、肉厚で食感がやわらかく、天然ものに匹敵するおいしさという。

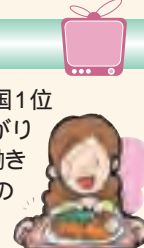
◎「DIME」6月19日号



コロッケ消費量が全国1位

富山県の一世帯当たりのコロッケ消費量が全国1位である理由を探った。北海道との歴史的つながりでジャガイモが多く流通していたことや、共働き家庭が多く、手軽でおいしいコロッケは主婦の強い味方のためと分析している。

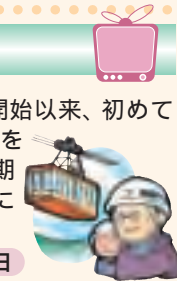
◎TBS「特搜日本!ランキングミステリー」5月10日



立山ロープウェイで初の大工事

立山ロープウェイで、昭和45年の運行開始以来、初めてロープを張り替える工事が行われたことを紹介。時には氷点下20度を下回る厳寒期の立山の自然と闘いながら、果敢に工事に挑んだ33人の男たちの70日間を伝えた。

◎日本テレビ「スーパーテレビ 情報最前線」5月26日



今後の予定

『夏だ！生だ！ハイビジョン』につぼん列島ふるさとの山』

NHKハイビジョン 8月9日(土)午後0:10～6:00

NHK衛星第2 " " 午後0:10～5:00

立山を中心に、全国5つの夏山から生中継します。

『生きる×2 ～てんころ村の電腦ばあちゃん(仮題)～』

北日本放送テレビ 9月21日(日)午前6:00～6:30

山田村から、ITを通じた都会の若者との交流を伝えます。

富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

県政クイズ

県内でもさまざまな分野で活躍している「民間非営利組織」のことをアルファベット3文字で「
」

と言います。
(
を埋めてください。)

ヒント：1ページを読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま8月号クイズ係」まで。
締切/8月11日(月)(必着)

正解者の中から20名の方に、太閤山ランドプール券をペアでプレゼントします。

(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお発送予定日は8月12日です。)



とやまの情報お伝えします!【8月の県政番組・お知らせ】

番組タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です

北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

3日 夏のお出かけ情報
10日 富山に集まる世界の自然
17日 うるおいを運ぶ農業用水
31日 わがまち自慢～上平村～

とやまDASH! フォーカス・イン

富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

3日 とやま昆虫物語
10日 とやまの水
17日 夏のイベント情報
24日 きときと富山弁講座
31日 循環型社会

富山が元気。見たモン勝ち2

チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52

24日 立山最前線

とやま県間録

F M とやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」

8月16日、30日の朝刊各紙に掲載予定

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

編集部から

毎回、県政クイズにたくさんのご応募をいただきありがとうございます。皆さんの本誌への感想には、勇気付けられる応援や厳しいご指摘などいろいろありますが、すべてとても役立っております。今後とも率直なご意見・ご感想をお寄せください。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

「県広報とやま」に関する
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 E-mail koho@pref.toyama.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

開 開館・開園時間 休 休館・休園日 料 利用料、参加料 対 対象 数 募集人数 締 募集締切
 ♿ 身障者用駐車場有り ♿ 出入口平坦またはスロープ有り ♿ 車いす対応エレベーター有り
 ♿ 車いす用観覧席有り ♿ 車いす用トイレ有り ♿ 洋式トイレ有り ♿ ベビーシート有り

近代美術館

富山市西中野町1-16-12
 ☎076(42)71111

世界ポスタートリエンナーレトヤマ2003【10/19(日)まで】
 日本で唯一の世界公募によるポスター展。入選・受賞作品や審査員の作品など約460点を一堂に展示します。
 料 一般900円 高・大 650円 小・中 450円
 常設展示もご覧になれます。

開 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(8/11・18、9/1・15・22は開館)
 料 常設展 一般200円 高・大 160円 小・中 100円

至JR富山駅
 科学文化センター
 近代美術館

水墨美術館

富山市五福7-7
 ☎076(43)3719

近代金銀屏風名作選【9/28(日)まで】
 金と銀の屏風を通して、日本文化特有の美とその特質を探ります。
 料 一般700円 高・大 500円 小・中 350円
 常設展示もご覧になれます。

開 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(8/11・18、9/1・15・22は開館)
 料 常設展 一般200円 高・大 160円 小・中 100円

菊池芳文「春秋花鳥園屏風(右隻)」

至JR富山駅
 水墨美術館
 富山三ツ水

立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
 ☎076(48)11000

企画展「自然をまねる 実験集合」【8/31(日)まで】
 立山で見られる自然の不思議な現象を実験で再現します。
 料 無料

収蔵品展「立山カルデラの甲虫」【9/5(金)～15(月・祝)】
 料 無料

開 9:30～17:00(8/31までは8:30～、入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(8/31まで無休、9/15は開館)
 料 常設展 一般400円 高・大 320円 小・中 200円

立山カルデラ砂防博物館

中央植物園

婦中町上營田42
 ☎076(46)4187

特別展「植物と紋章展」【8/20(水)まで】
 植物をモチーフにした紋章や校章を紹介します。

夜間開園「夜の温室植物」【8/15(金)、16(土)19:00～21:30】
 料 一般300円 小・中 150円

植物園オリエンテーリング【8/17(日)10:30～12:30】
 開 9:00～17:00(入園は16:30まで)
 休 木曜(8/14は開園)
 料 一般600円 小・中 300円

中央植物園

太閤山ランド

小杉町黒河477416
 ☎076(56)61116

夜間開園【8/10(日)～17(日)18:00～21:00】
 サマーナイトフェスティバル【8/23(土)16:00～21:00】
 縁日コーナー、花火大会などを開催します。

ふれあい農園・収穫祭【9/14(日)10:00～13:00】
 数 80名(申込順) 締 9/8 料 一般1,000円 小学生以下 500円

開 9:00～17:00(8/31までは～18:00)
 休 火曜、祝日の翌日(9/1まで無休、9/23は開園)
 料 無料(駐車場・プール料金等は別途必要)

太閤山ランド

とやま健康パーク

富山市友杉151
 ☎076(42)0809

企画展「かしこく食べて健康づくり」【8/9(土)～24(日)】
 生命科学館の利用料が必要です。

休 月曜(8/18、9/15は開館、9/16は休館)
 開 料 健康スタジアム10:00～22:00
 (日曜、祝日、8/18、9/15は～19:00)
 1日1,800円 3時間1,500円 2時間1,000円
 生命科学館 10:00～17:30 200円
 屋外健康づくり施設 10:00～17:30 無料
 小・中学生は半額、幼児は無料です。

とやま健康パーク

らいちようパレスキー場

大山町本宮
 ☎076(48)12226

ヘリコプター観光遊覧飛行【8/13(水)～15(金)9:00～15:30】
 北アルプスの山々から富山湾まで、雄大な景色が望めます。
 料 一般5,000円 11歳以下 4,000円
 荒天時は中止します。

ゴンドラリフト運行中【8:30～16:30】
 料 往復 一般1,100円 小学生以下 800円

らいちようパレスキー場

立山自然保護センター

立山町芦峰(室堂平)
 ☎076(46)5213

親子自然観察ツアー【8/31(日)までの土曜、日曜9:00～、13:30～の2回】
 ミクリガ池周辺を散策しながら、県ナチュラリストが立山の自然環境を分かりやすく解説します。
 数 各回20名(先着順) 料 無料
 荒天時は中止します。

開 8:30～17:00
 休 10/31まで無休
 料 無料

立山自然保護センター

ウッドルーム富山

小杉町黒河新4940
 ☎076(56)1570

夏休みなんでも木工教室【8/31(日)まで】
 対 小学生の親子 料 材料代実費 材料持込可

親と子のふれあい木工教室【9/7(日)9:00～12:00】
 敬老の日のプレゼントとして、小物入れを製作します。
 数 20組(申込順) 締 9/6 料 2,000円(材料代)

開 9:00～16:30
 休 火曜、祝日の翌日(9/23は開館)
 料 工作室 一般220円 小・中 110円

ウッドルーム富山

呉羽少年自然の家

富山市西金屋字長尾8194
 ☎076(43)1908

呉羽クラフトの集い「花器でお部屋に安らぎを!」【9/6(土)9:00～12:00】
 竹を使った花器を作ります。
 数 50名(申込順) 料 300円(材料代)

開 8:30～17:15
 休 月曜、祝日の翌日
 (8/11～15は休所、9/8・15・16・24は開所)
 料 日帰り90円
 宿泊 小・中 340円 25歳以下 670円 26歳以上 1,020円

呉羽少年自然の家

新川文化ホール

魚津市宮津10
 ☎076(56)1123

N響メンバーで聴く名曲コンサート【8/6(水)19:00開演】
 料 一般3,000円(当日3,500円)
 小・中・高 無料(整理券が必要です)
 全席自由

NHK交響楽団演奏会【9/24(水)19:00開演】
 開館10周年を記念して、日本最高峰のオーケストラの演奏会を開催します。
 料 S 10,000円 A 8,000円 学生3,000円
 全席指定

新川文化ホール

県民小劇場オルビス

富山駅前マリエラ7階
 ☎076(44)54531

舞台芸術・芸能・発見ライブ in ORBIS オリジナル楽器っておもしろい!【8/8(金)18:45開演】
 ライトで装飾された楽器「ラブ・アーム」を自在に操る宇治野宗輝と、蛍光灯の電磁波で音を奏でる「オプトロン」を開発した伊東篤宏が競演します。
 料 3,000円 全席自由

宇治野宗輝

土・日・祝日、教育活動での小・中・高校生の観覧、入園は無料です。